

連載

株式評論家 山本伸一の

兜町スタンダード



「辰巳天井」となる投資対象とは？

読者の皆様、新年明けましておめでとうございます。本年も旧年同様よろしくお願いいたします。

さて、新年の挨拶を簡単に済ませたところで、今回は株式格言の「辰巳天井、午尻下がり、未辛抱、申酉騒ぐ。戌笑い、亥固まる、子繁盛、丑躓き、寅千里を走り、卯跳ねる」を改めて取り上げたいと思う。

昨年の年初も「卯年は跳ねる」と格言が話題視され、連想から活況相場で幕を開けた。ただ、3月の震災発生、年後半の信用不安の台頭とともに調整を余儀なくされ、イメージ通りの「跳ねる」展開とはならなかったものの、一方でイメージ通りに「跳ねる」展開となった投資対象がある。

それは「円相場」だろう。昨年の円はドルに対して戦後最高値を更新するなど、跳ねるイメージそのものの大相場を演じた。株式相場にとって重しとなった円高だが、さすがに「天井域」に差し掛かっているのではないか。「辰巳天井」のイメージ通りに円高が和らげば、株式相場にも見直しが広がる。

そこで弊社では、円高耐性があり、例年の年始相場で好パフォーマンスを演じている新興市場銘柄を中心に「厳選5銘柄付き緊急市況レポート」を提供することとした。興味を持たれた方は、弊社に直接問い合わせしてほしい。